


Ver 1.0

オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく 温室効果ガス吸収プロジェクト申請書

プロジェクト名	森の町内会（間伐サポーター企業群と岩手県岩泉町・岩手町・連携による 間伐促進プロジェクト）
プロジェクト 代表事業者名	環境NPOオフィス町内会 代表 半谷栄寿  印

提出日 2009年10月21日
受理日 年 月 日
最終版提出日 年 月 日

A:参加者情報			
プロジェクト代表事業者 1			
事業者名(フリガナ)	環境NPOオフィス町内会(カンキョウNPOオフィスチョウナイカイ)		
住所	東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル517号		
代表者氏名	代表 半谷 栄寿	担当者氏名	丸山 直美
担当者所属	事務局	担当者役職	
担当者 E-mail	info@o-cho.org	担当者電話番号	03-5156-0408
プロジェクト事業者 2			
事業者名(フリガナ)	岩泉町(イワイズミチョウ)		
住所	岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字惣畑59-5		
代表者氏名	町長 伊達 勝身	担当者氏名	有原 健泰
担当者所属	岩泉町役場 水産農林課 林業水産室	担当者役職	室長
担当者 E-mail		担当者電話番号	0194-22-2111
事業者名(フリガナ)	葛巻町森林組合(クズマキマチシンリンクミアイ)		
住所	岩手県岩手郡葛巻町葛巻14-37		
代表者氏名	代表理事組合長 中崎和久	担当者氏名	竹川 高行
担当者所属		担当者役職	参事
担当者 E-mail		担当者電話番号	0195-66-2533
その他プロジェクト参加者 3,4			
事業者名(フリガナ)	葛巻町(クズマキマチ)		
住所	岩手県岩手郡葛巻町葛巻16-1-1		
代表者氏名	葛巻町長 鈴木 重男	担当者氏名	荒谷 重
担当者所属	葛巻町役場農林エネルギー課	担当者役職	課長
担当者 E-mail		担当者電話番号	0195-66-2111
プロジェクトでの役割	葛巻町におけるプロジェクト補助		
事業者名(フリガナ)	岩泉町森林組合(イワイズミチョウシンリンクミアイ)		
住所	岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字天間17-1		
代表者氏名	代表理事組合長 工藤新平	担当者氏名	杉山 知
担当者所属		担当者役職	総務課長
担当者 E-mail		担当者電話番号	0194-22-2529
プロジェクトでの役割	岩泉町におけるプロジェクト補助		

オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 5	
事業者名(フリガナ)	環境NPOオフィス町内会
オフセット・クレジット (J-VER)口座番号 6	口座未開設

プロジェクト代表事業者、その他プロジェクト参加者の紹介資料(パンフレット等)、及びプロジェクト事業者・参加者間の関係が分かる図は、以下の添付資料の通りである。

資料1-1-	プロジェクト代表事業者	環境NPOオフィス町内会	紹介資料
資料1-1-	プロジェクト事業者	岩泉町	紹介資料
資料1-1-	プロジェクト事業者	葛巻町森林組合	紹介資料
資料1-1-	プロジェクト参加者	岩泉町森林組合	紹介資料
資料1-1-	プロジェクト参加者	葛巻町	紹介資料
資料1-1-	プロジェクト事業者・参加者間の関係が分かる図		

- 1: プロジェクト代表事業者のパンフレット等、事業内容の説明資料を別途添付すること。代表者以外の主なプロジェクト参加者についてもパンフレット等があれば添付すること。
- 2: プロジェクト事業者とは、当該プロジェクトの実施に携わる者のうち、実際に温室効果ガス排出削減・吸収活動を実施する者を指す。代表者と同一の場合は、その旨を記載すること。
- 3: その他プロジェクト参加者とは、プロジェクト代表事業者・プロジェクト事業者以外に当該プロジェクトの実施に携わるすべての者を指す。たとえば、下記が参加者として想定される。
 - ・ 温室効果ガス排出削減・吸収活動のとりまとめを行う者
- 4: プロジェクト参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。
- 5: オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者は、プロジェクト参加者(代表者、プロジェクト事業者、その他)のうちいずれかであること。
- 6: オフセット・クレジット(J-VER)口座番号は、口座未取得の場合は記入不要。

B:プロジェクト活動の概要	
B.1 プロジェクト活動	項目
	<p>B.1.1 プロジェクトの目的及び内容</p> <p>「森の町内会」は「間伐に寄与した紙」の使用を通じて「複数企業の環境貢献活動」と「地域における森林整備」を結びつける新しい仕組みである。企業が従来の紙代より10%程度割高となる「間伐に寄与した紙」を購入・使用することで、間伐費用の不足分の一部を負担し、間伐を促進する。2005年より開始した「森の町内会」活動は、現在、「間伐サポーター企業」の輪が92社に広がった。当初から間伐実施パートナーである岩手県岩泉町に加え、隣接している葛巻町も2009年より「森の町内会」活動に参加している。</p> <p>本プロジェクトの対象地は、岩手県岩泉町・葛巻町の両町において、「森の町内会」活動によって間伐を実施し、製紙原料として間伐材を有効活用する森林である。かねてより「間伐サポーター企業」から、間伐効果の「見える化」が期待されてきた。本プロジェクトは、こうした要請に応えるものであり、「森の町内会」活動を通じて、間伐サポーター企業群との連携により、更なる森林整備を進め「森を元気にする」とともに、温室効果ガスの吸収量の増大を図ることを目的としている。</p>
	<p>B.1.2 プロジェクト実施前の状況</p> <p>(岩泉町)</p> <p>1 - 1 . 岩泉町有林の管理</p> <p>岩泉町が所有する森林は4,280haで、このうち分収林等で貸付している面積は666ha、直営での管理しているものが3,614haとなっている。</p> <p>岩泉町有林の大部分は、国有林の払い下げや部落共有林の寄付によるもので、旧町村単位の町の中心部から遠い奥地に散在しており、その範囲も海岸から北上山地に接しているなど気象や地形等の条件が大きく異なっている。本プロジェクトの対象地は2カ所で、中心部から南に直線で13kmの宮古市と接する風吹平事業区(70.06ha)の一部(10.52ha)と、西側に22kmの北上山地に接する関の沢事業区(680.45ha)の一部(26.41ha)である。</p> <p>1 - 2 . 本プロジェクト対象地の森林の現況</p> <p>本プロジェクトの対象地が含まれる風吹平事業区の森林現況は表1、関の沢事業区は表2の通りである。なお、本プロジェクトの対象となる森林の現況は、資料3 - 1 - の通りである。</p>

表1 (風吹平事業区森林現況)

区分		1~2	3~4	5~6	7~8	9~	計	備考	
人工林	スギ	面積	4.27	5.00			9.27	13%	
		蓄積	552	785			1,337	12%	
	ヒノキ	面積	2.00				2.00	3%	
		蓄積	204				204	2%	
	アカマツ	面積		6.76	26.44		33.20	47%	
		蓄積		1,093	6,474		7,567	65%	
	ソウダ	面積		2.02			2.02	3%	
		蓄積		298			298	3%	
	計	面積		6.27	13.78	26.44		46.49	66%
		蓄積		756	2,176	6,474		9,406	81%
天然林	アカマツ	面積							
		蓄積							
	ソウダ	面積		22.32	1.25			23.57	34%
		蓄積		2,098	163			2,261	19%
	計	面積		22.32	1.25			23.57	34%
		蓄積		2,098	163			2,261	19%
合計	面積		28.59	15.03	26.44		70.06	100%	
	蓄積		2,854	2,339	6,474		11,667	100%	

表2 (関の沢事業区森林現況)

区分		1~2	3~4	5~6	7~8	9~	計	備考	
人工林	スギ	面積			1.00		1.00		
		蓄積				95		95	
	ヒノキ	面積							
		蓄積							
	アカマツ	面積				34.90	212.01	246.91	36%
		蓄積				6,280	67,480	73,760	50%
	ソウダ	面積		11.05	38.05	12.70	3.74	65.54	10%
		蓄積		1,556	7,800	3,048	1,071	13,475	9%
	計	面積		11.05	38.05	48.60	215.75	313.45	46%
		蓄積		1,556	7,800	9,423	68,551	87,330	59%
天然林	アカマツ	面積				2.37	2.37		
		蓄積				782	782		
	ソウダ	面積	0.25	0.36		7.10	356.92	364.63	54%
		蓄積	7	12		639	59,377	60,035	41%
	計	面積	0.25	0.36		7.10	359.29	367.00	54%
		蓄積	7	12		639	60,159	60,817	41%
合計	面積	0.25	11.41	38.05	55.70	575.04	680.45	100%	
	蓄積	7	1,568	7,800	10,062	128,710	148,147	100%	

表1のように風吹平事業区は、人工林率が66%で8歳級以下の林分であり、保育間伐を必要とする。また、事業区の中を主要地方道宮古岩泉線が南北に縦断しており、地形的にも町有林の中では緩やかな土地となっている。

表2の関の沢事業区は、人工林率46%で標高が高い個所は天然広葉樹林となっており、蓄積の半分がアカマツ林で占められている。急峻な地形であるため、間伐作業及び間伐材の搬出のための作業道開設2,000mを計画している。

(葛巻町)

2-1. 葛巻町の森林

葛巻町の森林面積は、37,100haで森林率85%である。そのうち国有林面積は800ha、民有林面積は36,300haでうち人工林面積は15,900ha、天然林面積は19,500haである。人工林のうちカラマツ7,700ha、アカマツ6,500ha等となっており、民有林率が高いことが特徴である。

本プロジェクトの対象地である葛巻地区、江刈地区の森林現況は、表3および資料3-1-の通りである。

表3 (葛巻町における対象地の森林現況)

区 分		1~2	3~4	5~6	7~8	9~	合計	
人工林	カラマツ	面積		3.82			3.82	
		材積		545			545	
	アカマツ	面積				33.94		33.94
		材積				6,780		6,780
	スギ	面積			0.92	3.37		4.29
		材積			190	761		951
合計		面積		4.74	37.31		42.05	
		材積		735	7,541		8,276	

本プロジェクトの対象林は、すべて人工林かつ8歳級以下の林分であり、保育間伐を必要とする。対象地は既存の作業路が開設されており、除草及び補修を行った上、今回の間伐作業及び間伐材の搬出に利用する予定である。

B.1.3 排出削減・吸収の達成手段

(岩泉町)

1-1. 岩泉町有林における管理方針

岩泉町有林は、これまでアカマツを主体とした造林を行ってきており、人工林と天然林とのバランスを保ちながら中径材(平均直径30cm程度)生産を目標に概ね60年生での主伐を行って行く。蓄積は着実に増加しているものの主伐に達しない林分が

多く、間伐などの保育が必要であるが、事業区によって成長が一様でないため、樹冠の状況を見ながら30%程度の間伐を概ね10年間隔で実施して行く。

伐採後の植栽樹種については、これまでアカマツ主体であったことから、成長の早いカラマツや有用広葉樹など幅広く、その土地条件にあった樹種を選定して多様な森林造成を行う。

(葛巻町)

2 - 1 . 葛巻町における森林施業の基本方針

葛巻町における森林施業の基本方針は、表4のとおりである。

表4 葛巻町における森林施業の基本方針

森林の区分	樹種	主伐 伐期齢	間伐実施 間隔	間伐率
水土保全林	スギ	55年	5年	概ね30%
	アカマツ	50年	5年	概ね30%
	カラマツ	45年	5年	概ね30%
資源の循環利用林	スギ	45年	5年	概ね30%
	アカマツ	40年	5年	概ね30%
	カラマツ	35年	5年	概ね30%

注) 水土保全林とは、森林法施行規則第9条の2第1号ロに規定する水源涵養機能等維持増進森林をいう。また、資源の循環利用林とは、同規則第9条の2第1号イに規定する公益的機能別施業森林の区域以外の区域内に存する森林をいう。

<p>B.2 採用技術</p>	<p>プロジェクトで使用する設備・機器等 (岩泉町) 面積測量 コンパス 胸高直径の測定 林尺 樹高の測定 超音波測定器(パーテックス・トランスポーター、ハプロフ社(スウェーデン)) (葛巻町) 面積測量 コンパス 胸高直径の測定 林尺 樹高の測定 超音波測定器(パーテックス・トランスポーター、ハプロフ社(スウェーデン))</p>	
<p>B.3 プロジェクト 実施場所</p>	<p>実施事業所名</p>	<p>岩泉町役場 葛巻町森林組合</p>
	<p>住所</p>	<p>岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字惣畑 5 9 - 5 岩手県岩手郡葛巻町葛巻 1 4 - 3 7 事業実施場所の住所 (岩泉町) 岩手県下閉伊郡岩泉町上有芸字風吹平 51-183 岩手県下閉伊郡岩泉町釜津田字上栗宿 23-20 (葛巻町) 岩手県岩手郡葛巻町葛巻 51-86-2 岩手県岩手郡葛巻町葛巻 51-130 岩手県岩手郡葛巻町江刈 28-43-5 岩手県岩手郡葛巻町江刈 24-30-1</p>

		<div data-bbox="762 241 1220 833" data-label="Image"> <p>A map of Japan with the island of Honshu highlighted in light green. Two specific locations, Iwajima (葛巻町) and Katsuragi (岩泉町), are marked with black dots and labeled in black text. The surrounding area is shaded in a slightly darker green.</p> </div> <p data-bbox="577 855 1380 891">プロジェクト実施場所の詳細は、以下の添付資料の通りである。</p> <table border="1" data-bbox="550 945 1401 1662"> <tr> <td data-bbox="566 952 710 1086">資料3 - 1 - (岩泉町)</td> <td data-bbox="790 952 1396 1041">プロジェクト対象の森林について、林小班を特定可能な情報</td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1097 710 1131">資料3 - 1 -</td> <td data-bbox="790 1097 1332 1131">プロジェクト対象地位置図(岩泉町 風吹平地区)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1142 710 1176">資料3 - 1 -</td> <td data-bbox="790 1142 1332 1176">プロジェクト対象地位置図(岩泉町 関の沢地区)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1187 710 1220">資料3 - 1 -</td> <td data-bbox="790 1187 1292 1220">森林資源管理図_図面(岩泉町 風吹平地区)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1232 710 1265">資料3 - 1 -</td> <td data-bbox="790 1232 1292 1265">森林資源管理図_図面(岩泉町 関の沢地区)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1276 710 1310">資料3 - 1 -</td> <td data-bbox="790 1276 1364 1310">森林資源管理図_オルソ画像(岩泉町 風吹平地区)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1321 710 1355">資料3 - 1 -</td> <td data-bbox="790 1321 1364 1355">森林資源管理図_オルソ画像(岩泉町 関の沢地区)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1377 710 1411">(葛巻町)</td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1422 710 1456">資料3 - 1 -</td> <td data-bbox="790 1422 1189 1456">プロジェクト対象地位置図(葛巻町)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1467 710 1500">資料3 - 1 -</td> <td data-bbox="790 1467 1268 1500">森林資源管理図_図面(葛巻町 葛巻地区)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1512 710 1545">資料3 - 1 -</td> <td data-bbox="790 1512 1268 1545">森林資源管理図_図面(葛巻町 江刈地区)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1556 710 1590">資料3 - 1 -</td> <td data-bbox="790 1556 1340 1590">森林資源管理図_オルソ画像(葛巻町 葛巻地区)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="566 1601 710 1635">資料3 - 1 -</td> <td data-bbox="790 1601 1340 1635">森林資源管理図_オルソ画像(葛巻町 江刈地区)</td> </tr> </table>	資料3 - 1 - (岩泉町)	プロジェクト対象の森林について、林小班を特定可能な情報	資料3 - 1 -	プロジェクト対象地位置図(岩泉町 風吹平地区)	資料3 - 1 -	プロジェクト対象地位置図(岩泉町 関の沢地区)	資料3 - 1 -	森林資源管理図_図面(岩泉町 風吹平地区)	資料3 - 1 -	森林資源管理図_図面(岩泉町 関の沢地区)	資料3 - 1 -	森林資源管理図_オルソ画像(岩泉町 風吹平地区)	資料3 - 1 -	森林資源管理図_オルソ画像(岩泉町 関の沢地区)	(葛巻町)		資料3 - 1 -	プロジェクト対象地位置図(葛巻町)	資料3 - 1 -	森林資源管理図_図面(葛巻町 葛巻地区)	資料3 - 1 -	森林資源管理図_図面(葛巻町 江刈地区)	資料3 - 1 -	森林資源管理図_オルソ画像(葛巻町 葛巻地区)	資料3 - 1 -	森林資源管理図_オルソ画像(葛巻町 江刈地区)
資料3 - 1 - (岩泉町)	プロジェクト対象の森林について、林小班を特定可能な情報																											
資料3 - 1 -	プロジェクト対象地位置図(岩泉町 風吹平地区)																											
資料3 - 1 -	プロジェクト対象地位置図(岩泉町 関の沢地区)																											
資料3 - 1 -	森林資源管理図_図面(岩泉町 風吹平地区)																											
資料3 - 1 -	森林資源管理図_図面(岩泉町 関の沢地区)																											
資料3 - 1 -	森林資源管理図_オルソ画像(岩泉町 風吹平地区)																											
資料3 - 1 -	森林資源管理図_オルソ画像(岩泉町 関の沢地区)																											
(葛巻町)																												
資料3 - 1 -	プロジェクト対象地位置図(葛巻町)																											
資料3 - 1 -	森林資源管理図_図面(葛巻町 葛巻地区)																											
資料3 - 1 -	森林資源管理図_図面(葛巻町 江刈地区)																											
資料3 - 1 -	森林資源管理図_オルソ画像(葛巻町 葛巻地区)																											
資料3 - 1 -	森林資源管理図_オルソ画像(葛巻町 江刈地区)																											

B:プロジェクト活動の概要							
B.4 プロジェクト期間	2008年4月1日～2013年3月31日(5年0ヶ月)						
B.5 クレジット期間 1	2008年4月1日～2013年3月31日						
B.6 想定排出削減・吸収量 2	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	151	330	389	483	482	1835
B.7 モニタリング報告の頻度	2～3年に1回程度を予定。						
B.8 補助金	受給の有無 (いずれかに)	<input checked="" type="checkbox"/> 受給している / 申請中 / 検討中 / 受給しない					
	補助事業名称	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県森林づくり交付金事業(未整備森林緊急公的整備導入モデル事業) ・森林整備事業(流域育成林整備事業(循環)) 					
	補助金額 (申請額含む)	3,931,362円					
	補助対象年月日	2008年2月6日～2009年3月27日					
	補助金を受給していることを証明する書類	資料1-S- 岩手県森林づくり交付金事業費補助金交付契約書 資料1-S- 森林整備事業(流域育成林整備事業(循環))補助金交付通知書					
B.9 他制度への申請 3	申請の有無 (いずれかに)	有 / <input type="checkbox"/> 無					
	制度名 (有の場合のみ)						

備考	<p>(プロジェクトの排出削減・吸収量やプロジェクトの実施に影響を与うる現在もしくは将来的なリスク要因(例えば森林火災、気象災害、病虫害やこれらに伴う排出量がプロジェクトの吸収量を上回るリスクなど)を特定し、影響の軽減措置を記述すること。)</p> <p>リスク要因の影響軽減措置</p> <p>(岩泉町)</p> <p>岩泉町有林における森林火災の防止や気象災害、病虫害などの早期発見・防止、造林木の生育状況の確認のため、現地に精通している森林組合職員及び同労務班員から定期的な巡視及び調査を委託して災害等の防止に努めている。</p> <p>(葛巻町)</p> <p>葛巻町内の森林火災の防止や気象災害、病虫害などの早期発見・防止、造林木の育成状況の確認のため、現地に精通している森林組合職員等により定期的に巡視、調査を実施している。</p>
----	--

- 1:クレジット期間は、2008年4月1日～2013年3月31日の間で設定すること。
- 2:想定排出削減・吸収量の算定根拠をモニタリングプランで提示すること。
- 3:海外のVER制度や都道府県等のCO₂吸収量認証等、類似制度への申請の有無を記入。これは、一つのプロジェクトによる排出削減・吸収量に基づくクレジットが複数創出される等の、ダブルカウントを避けるためである。

C:方法論の適用		
C.1 ポジティブリストの適格性基準との整合性	C.1.1 ポジティブリストの番号	No. R. <u>001</u>
	条 件	説 明 1
	C.1.2 条件1	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「プロジェクト実施地が、森林法第5条又は第7条の2に定める森林であること。</p> </div> <p>(岩泉町) 当該プロジェクト実施地は、森林法第5条に定める<u>岩手県久慈・閉伊川地域森林計画区</u>の民有林である。</p> <p style="text-align: right;">森林法に定める森林であることを証明する書類 資料2 -</p> <p>(葛巻町) 当該プロジェクト実施地は、森林法第五条に定める<u>岩手県馬淵川上流森林計画区</u>の民有林である。</p> <p style="text-align: right;">森林法に定める森林であることを証明する書類 資料2 - 資料2 -</p>

	<p>C.1.3 条件2</p>	<p>「プロジェクト実施地において行われる施業が、以下の2つの条件を満たす間伐であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレジット発行対象期間内に当該プロジェクト実施地の森林施業計画や森林認証における森林計画書において転用及び主伐が計画されていないこと。 ・2007年4月1日以降に森林施業計画等に基づき施業（間伐）されたものであること。 <p>（岩泉町）</p> <p>クレジット発行対象期間内(2008年4月1日から2013年3月31日)に当該プロジェクト実施地の森林施業計画において転用および主伐は計画されていない。また、当該プロジェクト実施地において一部2008年4月から間伐を実施済みであり、他は2009年度以降に順次実施を計画しており、いずれも2007年4月1日以降に森林施業計画に基づき間伐するものである。なお、森林施業計画内の他の事業区において、小面積の広葉樹の主伐が計画されているが、森林施業計画に従い、天然更新される予定である。</p> <p>岩泉町の主な樹種であるアカマツの主伐期については、中径材(平均径30cm程度)生産を目指し、概ね60年を目途に施業を行っている。間伐については、劣勢木を中心に樹冠のうっ閉状況など現地の状態を見ながら概ね30%程度の間伐を行っている。当該プロジェクト実施地においては、間伐材の搬出及び利用のため作業道の開設も実施しており間伐率は30~40%を計画している。</p> <p style="text-align: center;">森林施業計画認定番号:19-12 資料2 -</p> <p>（葛巻町）</p> <p>クレジット発行対象期間内(2008年4月1日から2013年3月31日)に当該プロジェクト実施地の森林施業計画において転用および主伐は計画されていない。また、当該プロジェクト実施地において一部2008年12月から2009年2月に間伐を実施済みであり、他は2009年度以降に順次実施を計画しており、いずれも2007年4月1日以降に森林施業計画に基づき間伐するものである。</p> <p>葛巻町の主な樹種であるカラマツ(資源循環資源林)の主伐期は、中径材生産を目指し、概ね35年を目処に行っており、アカマツ(資源循環資源林)の主伐期は、同じく中径材生産を目指し、概ね40年を目処に行っている。間伐については、いずれも劣勢木を中心に樹冠のうっ閉状況等現地の状態をみながら概ね30%の間伐を行っている。</p>
--	------------------	---

C.2 適用 方法論	方法論番号	JRAM <u>001</u>						
	方法論名称	森林経営活動による CO2 吸収量増大（間伐促進型プロジェクト）に関する方法論						
C.3 適用 するガイド ライン等	C.3.1 ガイド ライン等へ の準拠	(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインに準拠しない場合の説明)						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>準拠の説明</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 全く準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 一部準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 全て準拠する場合は、説明は不要。</p>	準拠の説明	説明	<input type="checkbox"/> 全く準拠しない		<input type="checkbox"/> 一部準拠しない	
準拠の説明	説明							
<input type="checkbox"/> 全く準拠しない								
<input type="checkbox"/> 一部準拠しない								
<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する								

	C.3.2 ガイドライン等が複数ある場合の選択	<p>(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインのモニタリングパターンを選択する場合)</p> <table border="1" data-bbox="513 369 1369 1057"> <thead> <tr> <th>モニタリングパラメータ</th> <th>モニタリングパターン</th> <th>選択の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動量</td> <td><input type="checkbox"/> 森林 GIS</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 実測</td> <td>理由(間伐補助金に対応するために実測する正確性の高い値を使用可能であるため)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">拡大係数</td> <td><input type="checkbox"/> 実測</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等</td> <td>理由(政府が国家インベントリに使用する精度の高いデータを利用可能であるため)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">収穫予想表</td> <td><input type="checkbox"/> システム収穫表(LYCS等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)</td> <td>資料4 岩手県作成の『岩手県民有林適用現実林分収穫表等作成業務報告書』(平成8年2月)の「林分蓄積表」を使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 選択理由の説明においては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。</p>	モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由	活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS		<input checked="" type="checkbox"/> 実測	理由(間伐補助金に対応するために実測する正確性の高い値を使用可能であるため)	拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測		<input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	理由(政府が国家インベントリに使用する精度の高いデータを利用可能であるため)	収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表(LYCS等)		<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)	資料4 岩手県作成の『岩手県民有林適用現実林分収穫表等作成業務報告書』(平成8年2月)の「林分蓄積表」を使用
モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由																		
活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 実測	理由(間伐補助金に対応するために実測する正確性の高い値を使用可能であるため)																		
拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	理由(政府が国家インベントリに使用する精度の高いデータを利用可能であるため)																		
収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表(LYCS等)																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)	資料4 岩手県作成の『岩手県民有林適用現実林分収穫表等作成業務報告書』(平成8年2月)の「林分蓄積表」を使用																		
C.4 プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)	C.4.1 ベースラインシナリオの特定	<p>(プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)の説明)</p> <p>森林を適切な状態に保つために必要な間伐が2007年度以降に実施されていない状態。</p> <p>(ベースラインシナリオ特定に使用したデータの信頼性・入手可能性)</p> <table border="1" data-bbox="513 1541 1361 1738"> <thead> <tr> <th>データの信頼性・入手可能性</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 低い</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 低くない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	データの信頼性・入手可能性	説明	<input type="checkbox"/> 低い		<input checked="" type="checkbox"/> 低くない													
データの信頼性・入手可能性	説明																			
<input type="checkbox"/> 低い																				
<input checked="" type="checkbox"/> 低くない																				

		<p>(森林施業計画通りに施業を実施しない可能性に関する情報)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">施業計画通りに実施しない可能性</th> <th style="width: 70%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/>可能性がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>可能性がない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(プロジェクトの対象である森林が転用される可能性に関する情報)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">転用の可能性</th> <th style="width: 70%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/>可能性がある</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>可能性がない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施業計画通りに実施しない可能性	説明	<input type="checkbox"/> 可能性がある		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない		転用の可能性	説明	<input type="checkbox"/> 可能性がある		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	
	施業計画通りに実施しない可能性	説明												
<input type="checkbox"/> 可能性がある														
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない														
転用の可能性	説明													
<input type="checkbox"/> 可能性がある														
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない														
<p>C.4.2BLS に 関連した温室効果ガス 排出源・吸収源の特定</p>		<p>(温室効果ガス排出源・吸収源)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">温室効果ガス排出源・吸収源</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源</td> <td>地上部バイオマス、地下部バイオマス</td> </tr> <tr> <td>上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>リーケージに関しては、以下のリストから該当するものがあればボックスにチェックを入れること。また、チェックしたリーケージは、モニタリングプランにおいて定量化すること。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">リーケージの種類</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/>本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加</td> <td>該当しない</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加</td> <td>該当しない</td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源	説明	森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス、地下部バイオマス	上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	なし	リーケージの種類	説明	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	該当しない	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	該当しない
温室効果ガス排出源・吸収源	説明													
森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス、地下部バイオマス													
上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	なし													
リーケージの種類	説明													
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	該当しない													
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	該当しない													

		(温室効果ガス排出源・吸収源を特定するために使用した追加的な基準)						
		<table border="1"> <tr> <td>温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準</td> <td>説明</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>使用</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>使用しない</td> <td></td> </tr> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明	<input type="checkbox"/> 使用		<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明							
<input type="checkbox"/> 使用								
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								
C.5 排出量・吸収量の定量化	C.5.1 不確かなデータの使用	(吸収量の定量化における不確かなデータの使用)						
		<table border="1"> <tr> <td>不確かなデータの使用</td> <td>説明</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>使用する</td> <td>(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>使用しない</td> <td></td> </tr> </table>	不確かなデータの使用	説明	<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)	<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
不確かなデータの使用	説明							
<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)							
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								
	C.5.2 モニタリング対象とならない排出源・吸収源	(モニタリングプランを作成する上で、モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源が存在する)						
		<table border="1"> <tr> <td>モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源</td> <td>説明</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>存在する</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>存在しない</td> <td></td> </tr> </table>	モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源	説明	<input type="checkbox"/> 存在する		<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない	
モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源	説明							
<input type="checkbox"/> 存在する								
<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない								
C.6 備考		<p>プロット設定の基本的事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林簿や森林計画図から樹種、林齢毎に区分するとともに、尾根筋や沢等の自然条件が違っている場合には、それぞれの区域の斜面中腹からプロット箇所を選定して調査数値が偏らないよう配慮する。 ・図上で選定した箇所を実際に現地で踏査し、その箇所が林相、地形等の平均的な個所で所定の大きさのプロットが確保できることを確認する。また、林道や植栽地の林縁から樹高の2倍以上林内に入っていることを確認する。 ・現地で確認しプロットを設定した箇所は、森林計画図に図示するとともに、GPS等で経緯度等の位置を記録し、プロット区域が分かるように現地に目印となる杭を設置する。 ・プロット数は、30haに1カ所で、かつ樹種・林齢及び自然条件等を勘案した箇所数とする。 						

1: ポジティブリストの条件を全て満たすことを、証拠書類等をもとに説明する。説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。

D:その他

(想定される関連法令等については、別紙「プロジェクト申請方法について」を参照のこと)

1	森林・林業基本法	該当する
2	森林法	該当する
3	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法 (間伐等促進法)	該当しない
4	種の保存法	該当しない
5	鳥獣保護法	該当しない
6	騒音規制法	該当しない
7	景観法	該当しない
8	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	該当しない
9	環境影響評価法	該当しない

D.1 関連する許認可 及び関連法令

(岩泉町)

・森林法

当該プロジェクト実施地は、森林法に基づき森林施業計画を立案し、その森林施業計画に基づいて施業された森林である。

森林法に定める森林であることを証明する書類 資料 2 -

(葛巻町)

・森林法

当該プロジェクト実施地は、森林法に基づき森林施業計画を立案し、その森林施業計画に基づいて施業を予定している森林である。

森林法に定める森林であることを証明する書類 資料 2 -

資料 2 -

<p>D.2 ステークホルダー (森林所有者、森林 管理者、森林管理費 用負担者等)のコメント</p>	<p>(岩泉町) 本プロジェクト対象地は岩泉町有林の一部である。町が所有する森林を自らが管理運営を行っており、当該プロジェクト個所はもとより森林施業計画には、岩泉町以外の森林所有者は含まれていない。</p> <p>(葛巻町) 本プロジェクトには森林所有者(3名)は、プロジェクト事業者・参加者として申請していない。森林所有者に対し、持続性の担保(制度終了後10年間は不適切な主伐や土地転用は行わない)および本プロジェクトに関連するJ-VERの権利をプロジェクト事業者に委譲することを覚書で取り交わしている(資料3-E)。なお、当該森林施業計画には、この3名以外の森林所有者は含まれていない。</p>
<p>D.3 その他特記事項</p>	<p>特になし</p>